

きょうと シルバーだより

No. 90 新春号 令和6年1月



(写真：「曼殊院」 堀場 英一会員撮影)

新年あいさつ

地域班活動

KSRだより

ふれあいの小窓

事務局だより

公益社団法人 京都市シルバー人材センター



新年のご挨拶

理事長 村中 俊文

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、当センターの事業推進に格別のご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年5月には、コロナの感染症法上の位置づけも変更され、当センターにおいても、寺社・観光関連事業をはじめとして受注が回復するなど、少しずつではありますが、ようやくコロナ前に戻りつつあります。

一方で、少子高齢化や人口減少が進む中、雇用形態や年齢、性別等を問わず生涯を通じて自ら働き方を選択できる社会へと、私たちの意識の変化や社会変革を求める流れが加速しており、次々に行われる法制度の改正は、センターの事業運営にも大きな影響を与えるものとなっております。

目まぐるしく変わる社会情勢ではありますが、シルバー人材センターは、就業機会の提供を通じて、高齢者の皆様が、健康で生きがいのある生活を実現し、地域の担い手としてご活躍いただくことで、少子高齢化の進む社会を支える重要な役割を担っており、生涯現役時代に向けて、センターへの期待はますます高まっております。

このような地域社会の期待にしっかりと応えていけるよう、令和6年も役職員はもとより、皆様方と力を合わせ、魅力ある、そして活力あるセンターづくりに全力で取り組んでまいります。

結びに、本年も皆様方が安全就業にご留意いただき、益々活躍されますこと、そして、幸多き一年になりますことを祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



感謝を込めて ～魅力あふれる京都を未来へ～

京都市長 門川 大作

あけまして、おめでとうございます。

京都市シルバー人材センターにおかれましては、高齢者の皆様への就業機会の提供を通して、社会参加の促進や生きがいづくりに多大な御貢献を賜っております。改めて深く御礼申し上げます。

市長の任期もあと2箇月となりました。「課題は現場にある、しかし、答えも解決する力も現場にある」そんな信念で現地現場主義を貫いてきました。

振り返ると、リーマンショックからのスタートでしたが、あらゆる施策を展開しつつ、行財政改革に注力。厳しい財政状況が続く中でも、全国トップ水準の福祉、教育、子育て支援、文化政策等を充実させ、都市格が大きく向上しました。

そして、私の4期目の最大の責務は「抜本的な財政改革」。そこに「コロナ危機」。市民の皆様の命と暮らしを守り抜く。同時に、徹底した議論を重ね、更なる改革を丁寧な説明を心がけつつ断行。その結果、10年以上かかると思われた収支均衡を2年で達成。これは、都市の成長戦略による担税力の強化が市税収入の増加（過去最高）に繋がったこと、本市独自施策の持続可能な観点での見直しによる歳出削減など、様々な要素が相まって実現したものです。これらも市民の皆様の京都への愛情、日々の弛まぬお取組の賜物。改めて感謝申し上げます。更なる子育て支援、人口減少対策、そして改革を続けつつ、足腰の強い財政へ。同時に、文化を基軸とした都市経営を一層推進。任期の最後まで、京都の「地域力」「文化力」をいかしたまちづくりに力を注ぎ、素晴らしいリーダーに継承してまいります。

結びに、京都市シルバー人材センターの更なる御発展と、皆様の御健勝と御多幸を祈念し、新年のあいさつといたします。

料理講習会に参加して

9月に入会して、早速10月25日にKSRの「料理講習会」に参加しました。今年は、河原町三条上る「ラ・キャリアール・クッキングスクール」で、「秋の食材を使ったイタリアン」のテーマで開催されました。

メニューは、「豚肉のサルティンボッカ」「キノコのリゾット」「りんごと野菜のイタリアンサラダ」の3品です。ホテルのようにきれいな会場での講習で、講師の先生は単に調理の手順だけでなく、「何故そうするのか」やポイントを話され、勉強になりました。



下準備もされており、器具等の使い勝手も良く、手早く調理できました。私は、まだシルバーの中のことが右も左もわからないのですが、一緒に調理した方が色々と話していただき、シルバーのことを少し知ることができ楽しい時間でした。

入会したばかりで、まだお仕事はしていないのですが、これから料理のお仕事をいただいたら、今回習ったことを生かしてやってみたいと思います。今まで、管理栄養士として病院や保育園などで調理の仕事をしてきましたが、今回のメインの料理は初めて聞いたメニューでした。家庭でも一度作ってみたいと思っています。

これからも色々な講習会等に参加して、皆さんと交流できたらと思います。よろしくお願いします。

北区：長谷川 陽子

ふれあいの小窓

シニアライフの充実に向けて

シルバーにお世話になるまでの我慢の数か月

私は2021年3月末日で停年退職となりました。その当時、コロナワクチンの接種は始まっていたものの、まだ一般人までには普及しておらず、規制の一番きつかった時期かも知れません。とにかく人との接触が避けられ、就活など考えることもできず、翌日から一人の生活（妻はその3年前に死去）が始まりました。急に頭がボケてしまわないようにと、朝の散歩をすませたあとは、中学受験の算数、漢字の書取り、新聞や本の読書、NHKの語学のラジオ講座などで一日の時間割を作り、夕方までの時間を過ごしました。その間の楽しみはスーパーでの買い物くらいだったでしょうか。趣味の合唱は所属2団体とも練習休止中。夕方以降週3、4回通っていたスポーツジムのスイミングも4月下旬から一時期閉鎖になり、心身の健康を維持するのに大変苦労しました。一番つらかったのは、一言もしゃべらない日が多かったことです。

やっと6月に2回の接種を終え、7月に入って3月に東京で生まれた孫に会いに行き、そしてシルバー人材センターに登録に行きました。そのころには制限が厳しい中でも合唱団の練習も再開し、ジムで発散もでき、少しずつ日常を取り戻す中で、シルバーから紹介いただいた仕事に9月から就くことができました。今もその仕事を続けさせていただいて、シルバーの先輩方と楽しく働いています。働けることはほんとにありがたく、第2の人生を楽しんでいます。

左京区：H. T.

地域のツボ紹介

冬の風物詩 “山科義士まつり”

吉良邸討ち入りまでの間、山科で大石内蔵助が隠れ過ごした地でもあり、赤穂浪士にまつわる史跡が多く残っています。

毎年、12月14日には「山科義士まつり」が開催され、討ち入り装束に身を固めた義士隊の列のほか、東部文化会館の舞台にて「刃傷松の廊下」や「切腹」、「連判状改め」、「討ち入り」などのお芝居が行われます。

また、かわいらしい幼稚園児による義士隊のほか、女性たちによる「大石音頭」や「元禄花見踊り」がまつりに華を添えてくれます。



(令和元年撮影)

事務局だより

委員会報告

☆自転車安全講習会を実施☆

令和5年9月26日(火)午前10時から二条自動車教習所にて府警中京警察署の協力のもと、自転車安全講習会を実施しました。

今回は、「自転車の正しい安全な乗り方」、「安全サポートカーの実車体験」、そして「歩行車(シルバーカー)」の実車体験の3つについて受講しました。

参加者は、知っているようでしっかりと知らなかった交通ルールやマナーを実際に自転車に乗りながら学び、サポートカーの体験では、「ほんまに停まるんや!」と驚き、歩行車には興味津々で乗りまわしたりと、みんなにとって充実した講習となりました。



☆就業開拓委員会☆

令和5年10月5日(木)に第4回就業開拓委員会が開催され、9月30日で退任された干場多美子開拓員の後任として、新開拓員である藪内みどり会員が紹介されました。

開拓活動の現状としては、コロナ後ということもあり、訪問先からの問合せ、依頼は一定数あるものの、シルバーにマッチした就業依頼があまり増えていないことを踏まえ、今後の活動の在り方などについて話し合われました。

人権の尊重について

これまで職場や地域など、社会の様々な場面で人権啓発の取組が行われてきましたが、残念なことに、今なお偏見や差別に基づく発言等がなされることも見受けられます。こうした行為は他人の人格や尊厳を傷つけるものであり、決して許されるものではありません。会員の皆様におかれましても、こうしたことのないようお願いいたします。

配分金支払明細書について

現在、毎月15日前後に皆様のもとに送付されている「配分金支払明細書」について、令和6年4月からハガキでの通知から専用アプリへの通知へと切替させていただくこととなりました。移行期間として令和6年4月から9月までの6箇月間は、アプリへの通知と合わせてこれまで通りハガキの発送も行いますが、令和6年10月からは、すべてアプリでの対応となりハガキでの発行、発送は行いません。（どうしてもアプリでの確認ができない方等につきましては、本部事務所までお越しいただければ発行いたします。）

つきましては、専用アプリのスマホへのダウンロードが必要となり、その使い方も理解していただく必要がありますので、アプリのダウンロード方法及び使用方法の説明書を令和6年2月頃を目途に皆様へ送付させていただきますので、アプリをダウンロードしていただいたうえで、使用方法の確認をしていただきますようお願いいたします。

なお、どうしてもご自身ではダウンロードができない方や、使用方法について理解できない方に対しては、講習会を令和6年2月以降随時実施する予定です。

講習会の日程等につきましては、別にご案内させていただきますが、参加希望者が多数になることが見込まれますので、ご自身で対応できる方や、ご家族に協力いただける方は、できる限りご自身で対応いただきますようお願いいたします。

京都府警察から
のお知らせ

特殊詐欺からあなたを守る固定電話対策

NTTが特殊詐欺対策の取り組みを強化！！

※
**ナンバー・ディスプレイ、ナンバー・リクエストが
高齢者は無償化に！**

対象：70歳以上の契約者又は70歳以上の方と同居している契約者の回線

※ ご利用にあたりましては、電話機等の設定が必要です



もしもし田亀代©京都工芸繊維大学中野研究室

対応した電話機等により **非通知の着信を拒否できます！！**



- その他にも、特殊詐欺対策サービス、特殊詐欺等の犯罪被害を受けた場合や受けるおそれがある場合の電話番号変更の工事費を、お客さまからの申し出により無料とします。
- 詳しくは、NTT西日本ニュースリリースを確認してください
URL：<https://www.ntt-west.co.jp/news/2303/230322a.html>



お申込み・お問い合わせはコチラ

NTT西日本 特殊詐欺対策ダイヤル 0120-931-965

<営業時間：午前9時～午後5時（年末年始12/29～1/3を除きます）>
電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようお願いします。



＝京都市長への要望活動を実施しました＝

8月10日（木）、門川大作京都市長の代理として吉田良比呂副市長に対応いただき、村中理事長、下間副理事長、山村専務理事・事務局長から、センターへの補助金の確保、京都市からの更なる事業発注、事務所の安定的な利用などについて要望を行いました。

吉田副市長からは、「市の財政状況は、皆様の協力と努力により改善したものの、依然として油断できない状況であるが、高齢者が増え、健康寿命が延びる中、高齢者の生きがい就業に取り組むセンターの役割はますます重要になる。市としてもしっかりと応援させていただく。



市の育児支援ヘルパー派遣事業など新たな事業にも取り組んでいただいているが、従来の働き方と意識が変化している中で、高齢者が働きやすい環境づくりに向けて、センターが社会のニーズに応え、その役割を担っていただくことを期待しており、連携していきたい」旨のご発言をいただきました。

－アンケートの結果について－

前号と一緒に配布させていただいたアンケートでは、大変多くの会員様にご回答をいただくことができました。ご協力いただきました皆様、大変ありがとうございました。

回答内容などは、次のとおりです。

＜回答いただいた数＞ 114通

＜シルバーだよりを読んでいる頻度について＞

毎号必ず読んでいる—104人、時々読んでいる—7人、読んだことがない—3人

＜内容を読む度合いについて＞

ほとんど全部読んでいる—82人、興味がある記事だけ読んでいる—28人、あまり・ほとんど読んでいない—2人

となりました。他にもさまざまのご意見をいただきましてありがとうございました。

今後の紙面づくりに貴重なご意見を活かさせていけるよう、頑張って作ってまいります。

緊急時の連絡先（携帯電話番号）について

事務局の業務時間外（夜間・休日）に、緊急の用件で連絡が必要になったときは、次の携帯電話に連絡してください。

	連絡先・携帯電話番号		連絡先・携帯電話番号
本 部	090-6676-6853	北 部 支 部	090-3978-6848
東 部 支 部	090-6678-5342	全支部共通	080-4014-8376

緊急の用件とは：

- ・就業中の大怪我、就業先と自宅との往復の途中での交通事故
- ・就業先に損害を与えたり、市民の方に怪我をさせた場合 などで急を要するとき

配分金の確定申告について

センターから受け取られた配分金等は、税法上は、雑所得として取り扱われ、次に該当するような場合は確定申告の必要がありますので、自主的に申告してください。

1. 配分金収入のみの会員
103万円を超える配分金収入がある場合
2. 配分金収入の他に年金収入がある会員
(年間配分金－配分金控除 55万円)＋(公的年金等－公的年金等控除)－基礎控除 48万円－その他所得控除〔扶養など〕＝課税対象所得額がある場合

確定申告についての詳細は、最寄りの税務署にお問い合わせください。

「配分金支払証明書」が必要な方はセンター事務局までご連絡ください。

なお、年間配分金収入が 55 万円以上の会員には、1 月下旬に事務局から郵送します。

監事	監事	専務理事	理事	副理事長	理事長													
岡	田	山	谷	武	祖	小	岩	山	本	藤	芳	田	兒	梶	岡	上	下	村
中	中	村	千	久	父	石	城	下	永	田	賀	中	島	川	本	田	間	中
克	秀	敏	加	辰	文	悦	洋	信	治	智	正	均	宏	哲	清	健	俊	文
彦	雄	雄	子	雄	男	子	一	一	彦	洋	昭	均	尚	憲	和	之	文	

会員の皆様のご健康と
ご多幸をお祈り
申し上げます。

迎
春

編集後記

長い夏、短い秋？も終わり、そして冬へと、あっという間に変化していく季節の移ろいの中でも、私たちは変わらず生活していかなくてはなりません。

シルバーだよりの中での変化としては、“ふれあいの小窓”で内容を刷新しました。

シルバーだよりをより親近感を持って見ていただけるように会員の皆様の書かれた原稿を掲載するコーナーとして“シニアライフの充実に向けて”、“地域のツボ紹介”を新設いたしました。

ご自分の生活をハリのあるものとするためにしておられることや取り組んでおられること、皆様がお住まいの地域の人だからこそ知っているような場所や取組みを教えてください。皆様からの投稿をお待ちしています。

KSRの健康講座にあるように“フレイル”に落ち込まないためにも、食事や運動に気を使い、様々のことに積極的に取り組みながら健やかな時を過ごしていきましょう。

令和6年1月1日

発行

公益社団法人京都市シルバー人材センター
〒604-8437

京都市中京区西ノ京東中合町2番地
TEL:821-2013 FAX:821-2020